

ろうさん彩登

サイ ト

埼玉県勤労者山岳連盟

機関紙：発行責任者 武笠真次
編集 小松勝浩

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂4-1-5ふじビル2階
TEL・FAX 048-838-0640

<http://www.tozans.justhpbs.jp/>

電子版

6号目次

P1 県連の動き

P3 18期登山学校「岩登り」講座報告

P5 岩ネット 9月・10月参加報告

安全講演会のお知らせ

参加費無料

**安全講演会11/24日:高鼻コミュニティーセンター
大会議室13:00受付13:30開始16:00終了**
講師 **金 邦夫氏** (元青梅警察署山岳救助隊副隊長)
テーマ「山岳遭難事故例に学ぶ。
死なないための教訓」

県連の動き

委員会活動報告

全国連盟活動

11月20日(水)・12月18日(水) 山筋GOGO体操教室 17時30分～ 全国連盟事務所
11月30日(土)～12月1日(日) 全国自然保護担当者会議
12月7日(土) 日本勤労者山岳連盟 2013年望年会

事務局

・安全登山講習会の各会配信終了 ・全国連盟から2件の調査依頼1件の連絡が来ています。
1, 10 / 31 現在会員数調査票の問い合わせ。 震災支援アンケートについて
2, 上記については担当者が集約する。(木村) 震災支援アンケートは(加納、木村)
3, 連絡 望年会のお知らせ。各会に事務局の方から配信します。(担当木村)

財政

連盟費未納団体 入金情報 未納団体3団体(1団体連絡済み)

女性

1. 10/28日女性委員会を開きました。
2. 第13回東日本女性登山交流集會に埼玉は13名で参加。前日に埼玉だけで交流会を持つ。女性委員の参加3名。盛大に盛り上がりました。参加者からの感想を県連HPにのせました。(最終参加者新座7名所沢2名ピスターリ3名わらび1名) 来年も引き続き参加していく。
3. 安全登山講習会について、2月第一週に行う予定。現在講師その他調整中。

ホームページ

記事を更新しました。カレンダーの申し込み、安全登山講演会のお知らせ、震災支援について3月16、17日を記載。

機関紙

1, 県連ニュース5号を発行しました。
2, 11/13日6号発行予定。第二水曜日が発行日です。

委員会活動報告

ハイキング

1/26日 13:00から3時間ぐらい 天気についての講演会。参加費500円。
会場：東大宮コミュニティセンター 詳細を知りたい方は佐藤理事まで申し出て下さい。
全国ハイキング交流集会の報告(高橋)

自然保護

放射能測定器が修理に出ています。 石巻災害支援は19名で参加してきました。
新座の参加者のなかから感想をHPに掲載します。

遭難防止・安全教育

締め切り確認 (担当尾手)
10/25第一次締め切り 11/8 第二次締め切り

救助隊

10/26.27 セルフレスキュー講習会実施。26日机上参加者10名救助隊員6名。計16名。
27日日和田参加者15名、救助隊員8名。計23名。無事に終了しました。

今後の活動予定

- (1) 11/5 役員会 (2) 11/10救助隊搬出訓練 岳稜岩
- (3) 2/22.23 関東ブロック千葉県連主催深雪訓練 土合い山の家

登山学校

「地図の読み方」(机上：カルタスホール実技：奥多摩山系・高水三山)
10月の報告 (1) 10月は岩登り講座でした。10/9机上参加者23名 運営委員9名。
10/10実技 参加者24名運営委員12名。
11/5日運営委員会
次回登山学校11/9, 10日。「天気の見方」鈴が岳。

岩ネット

10月の岩ネット報告 10/19日参加者14名(熊谷、わらび、三郷、ツルバミ各1名、所沢ハイ3名 飯能3名 彩の山友4名)
次回11月の岩ネット11/16予定

ブロック活動報告

西部 = (1)10/10 交流ハイクの打合せ (2)11/14 事前打ち合わせ (3)11/17 交流ハイク
南部 = (1) 10/25 役員会 (2)12/1 忘年バスハイク予定
中部 = ブロック会議特になし
北部 = ブロック会議特になし

登山学校

第5回『岩登り入門』 第18期登山学校受講生 和久津淳子 記

【10月5日】机上学習 北浦和カルタスホールにて 9:30~12:00
 午後北浦和公園で学習予定であったが、雨天の為中止となった。

『説明』立ち込み、重心、三点支持、トラバース 『実習』重心のかけ方をペアになり、いすの端につま先で立ってみる。簡易ハーネスをつくる。ロープの結び方。ダブル8の字、ムンターヒッチ、クレムヘイストノット、実技講習で使うヘルメット、ハーネスが貸出しされ、用具の説明をうけてから、実際に装着してみる。実技講習の説明を受け解散となる。簡易ハーネスの作り方、ロープの結び方は、『山での救急法』でも学習したはずだが、忘れてしまっている。



【10月6日】実技講習
 日和田山クライミングゲレンデにて
 9:00~15:30西部池袋線 高麗駅 9時集合班ごとに集まり、日和田山へ移動。9:30到着
 簡易ハーネスをつくる。

女岩西斜面・クレムヘイストノットを結び登る。(ザック、トレッキングシューズを装着したまま)途中で中間支点の通過(カラビナの付け替え方の学習)。女岩南面・懸垂下降で降りる。女岩南面・クライミングシューズ、ハーネスをつけて登る。男岩南面・・・クライミングシューズ、ハーネスをつけて登る(希望者のみ)

女岩南面を登るころから、班ごとではなく登れる人からという感じになっていった。待ち時間に昼食をとる。待ち時間に 岩を見ながら、岩のつかみ方、バランスのとり方、登り方等を丁寧に教えてもらった。15:30 岩登り終了。解散となり、各自で高麗駅へと向かった。私たちは4班なので前の班の様子をよくみて、登るイメージはできていたが、自分で登るとなるとなかなかイメージ通りにはいかない。岩場での懸垂下降はどこに足を置いたらいいのか難しい。恐怖感からかお尻をおとしたり、足を伸ばすことができない。岩登りでは岩が迫り不安を感じたが、運営委員の方々の指示でなんとか登ることができた。岩登りをする事がなくても、バランスのとり方、横移動の方法など安全に登山をする上で大事な事をたくさん教えてもらう事ができた。初めての岩登り、手足に軽い倦怠感を感じながらも、自分で登ることができた達成感に満たされながら、帰宅の途についた。



登山学校

第5回『岩登り入門』 第18期登山学校受講生 遠藤 明美 記

【机上学習】10月5日(土)9:30~12:00 北浦和カルタスホール

・講師 軽部先生

・雨のため午後の北浦和公園での学習は中止。

最初に軽部先生ご自身の登山にまつわるお話をされました。登山の楽しさと怖さ、特に友人の事故死には身が引き締まる思いがしました。

次に「立ち込み」「三点支持」「トラバース」を、その後、簡易ハーネス、ロープワークを学びました。ロープワークは第3回「山での救急法」で習いましたが、悲しいほど覚えていませんでした。明日が心配です。

【実技講習】10月6日(日)9:00~15:30 日和田山クライミングゲレンデ
男岩には他のグループが数組クライミングを実施。大変な人出です。

ストレッチの後、リュックに登山靴そしてヘルメットと簡易ハーネスを着け女岩の裏側からクライムヘイストノットで登り、途中でカラビナの架け替えを学び、懸垂下降で降りました。下りは体重をロープにかけられず、ロープをコントロールする右手もうまく使えず、ボロボロになりながら降りました。

次に、女岩でのクライミングです。ハーネスを着けクライミングシューズを履いて挑戦です。高所恐怖症の私は、ここからは「見物人」のつもりでいました。しかし、同期の女性たちが次々とトライし「遠藤さん、大丈夫、登れるから。だめなら途中でやめればいいのよ。」と励ましがあがり、背中を押されてチャレンジしました。登りは三点支持・立ち込み確保に留意し、先生方によるロープでの安全確保があるものの、恐怖との戦いでした。自力で登らなければ落下する意識でやっていたので必死そのものでした。下りは下を見る余裕がなく「足を広げて、岩に立って歩く感じ。」とアドバイスがありました。振られてしまったものの、恐怖感は薄れ完了しました。

その後の男岩は、女岩でへとへとになり緊張感が途切れてしましクライミングをしませんでした。軽部先生から「本日は雨上がりで岩場が濡れていて難しい」とお話がありました。他のグループを見ると登山靴なので滑って途中で断念する人が沢山いました。

今回のクライミングは一人ではできない、この登山学校だからできた貴重な体験でした。特に先生方の場所の確保から始まりヘルメット・ハーネス・シューズの貸し出し、汗を流しながらのロープの安全確保に感謝します。また、同期の女性たちと励まし合い一体感を感じました。

今後、クライミングをすることは無いと思いますが、岩場に対して少し恐怖感が薄れたと思います。今回の学習で登山の幅が広がり、もっと楽しく山と遊べそうです。



岩ネット

岩ネット報告 飯能労山 結城 記

9月28日、秋晴れの絶好のクライミング日和。今回の岩ネットには男性7名、女性2名の計9名が日和田山に集まりました。日和田山は曼珠沙華で有名な高麗巾着田の近く、下界は見頃を迎えた曼珠沙華を見に多くの人で賑わっていることでしょう。一方、日和田山では夏山疲れか、または行楽シーズンのためか、思ったより人は少なく(他には3組+程度)、今日は思う存分、岩登りができそうです。

9時に集合後、水谷リーダーから短い訓示・・・「何かテーマを持って1日登ろう」・・・私の今日のテーマは「体重移動」。まずは南面から2手に分かれて練習を開始いたしました。初心者からベテランまでそれぞれのレベルで数をこなしていきます。何を隠そう、私もクライミングを始めて3か月の初心者、ベテランのみなさんのアドバイスを吸収しながら必死で登って行きました。

今回参加の女性2人は初ビレーに挑戦。本番前にザイルを手繰る練習を一生懸命やっていますが、そのタドタドしい手つきを見ていると不安が頭を過ります。その女性の初めての男は私。「登ります。」の掛け声をかけ、彼女のビレーで頂上を目指しました。もちろん、彼女の横には熟練者がサポートしていますので、登り始めればまったく不安もなく、無事、地上へ戻ってきました。午後からは西面で技のトレーニングです。少し難度の高い斜面を全員が下で見守る中、各人の挑戦が始まりました。スイスイと核心部分を通過し、その壁を攻略するとみんなからの「おおー」という賞賛の嵐。いったん詰まると、「右手は上の突起」、「左足はそこのクラックに」など温かいアドバイスが至る所から飛びます。しかしながら船頭多くして良いことはなく、最後には右も左もわからなくなり、落下・・・となる人も少なくありません。一番熱心にアドバイス(ヤジ)を飛ばしていた人の番になると岩場は最高潮になりました。そのヤジ将軍はヤジの元気そのままバルジ(日和田山のラインの一つ)をグイグイ登って行きます。ただ、本人のアドバイスと少し違うルートで。降りてきた本人曰く「登れば勝ちだ!!」現在、バルジ攻略中の私の場合、今日の課題の体重移動に注意しながら、2回チャレンジ。いい感触を掴みながらも、午前中の力づくのクライミングがたたり、腕がパンパン。バルジ攻略は次回の楽しみとなりました。

まだ、紅葉には少し早い時期でしたが、恵まれた天候の中で、安全第一の緊張感を持ちながら、ワイワイガヤガヤ楽しく、あっという間の一日でした。

日本勤労者山岳連盟2014年カレンダー申込み受付中加盟所属会にお申し込み下さい。

2014年カレンダー写真



岩ネット



「岩ネット」IN日和田

所ハイ 清水 美紀 記

10月19日(土)どんよりと厚い雲の下、久々の高麗駅に降り立つ。ん、雨?傘をさしている人がちらほら・・・中止?いやいや、そんなはずはない。駅周辺は雨でも日和田に行けば、降っていないかもしれないと一人歩き始める。

途中、心配になり参加予定のKさんに連絡すると、「岩場に向かって歩いている」との事良かった。途中、Sさんに会い2人で日和田に向かう。駐車場で少し様子見、水谷さんの大丈夫でしょ!の声を合図に岩場へ向けて歩き出す。現場に着き顔合わせ、初めてお会いする方も合わせて、14名の参加。水谷さんの指示でルート取りが始まる。右側の岩場に3本・左側の岩場に2本のルートが決まった。

5か月ぶりの岩ネット、始めは右側の真ん中寄りに取り付く、手・足に違和感なく恐怖心も無し。今日の目標は登れるルートを如何に美しく優雅に、足を主とし、体重移動をスムーズに行うこと!

ビレー交代し他の方が登る様子を観察、2本目は一度も成功した事の無い、いちばん右のルートに挑戦。2本挑戦して2本とも失敗。2本目はTさんにチョークで印まで付けてもらったのに・・・

Yさん曰く、チョーク印に足を置き体重移動をしたら、ふっと体が上がったよ!と、降りてくる顔は実に楽しげで嬉しそう。ビレーしつつ次のルートをチラチラ。負の気持ちを払拭するべく、右面のいちばん左ルートにアタック!体は素直なもので楽なコースを進んでいたらしく、下からダメ出し。え～うそ～と抵抗するも、悲しいかなビレーヤーの操り人形と化し、強制下降。

再チャレンジ、午前中最後になるだろうと、特に体重移動を意識しつつ大事に登る。お腹はペコペコ。

昼食終了後は左側の岩場で練習、松ノ木ハング・その少し左に取り付く参加者を憧れ見ながら、中央ルート・左側ルートを練習。どちらのルートも逃げながらトップにタッチ経験はあったものの、OKと言われたのは初めてで、左ルートの最後の部分で、悪戦苦闘。水谷さんが他のルート取り?でトップから、魔法のアドバイス、手がパンプ寸前! あ～ら?不思議、力がふっと抜けてトップのカラビナにタッチ。やったあ!!あまりに嬉しくて岩にキスしてから下降。来てよかった・雨で中止にならなくてよかった。

最後に懸垂下降の復讐もさせて頂き、欲張りな1日となりました。

水谷さんはじめ参加された皆様、ありがとうございました。

**岩ネット11月16日(土)/日和田山ゲレンデ現地9時集合
「クライミングを始めたい方、初級者大歓迎です。」**